

はじめに

静浦地区には、静浦小学校、静浦東小学校、静浦西小学校の三つの小学校及び静浦中学校があるが、少子化傾向により児童生徒数の減少が進んでいる。

また、静浦中学校は山の中腹に校舎とグラウンドがあり、崖地に近接していることから、通学時や学校での子どもたちの安全を考え、早急な校舎移転が必要である。

静浦地区では、このような状況にどのように対応していくか自治会を中心に検討を重ね、その結果として、平成 17 年 4 月及び平成 18 年 12 月、沼津市長に静浦地区小中一貫校設置についての要望書が提出された。

今回、この要望書を受け、小中一貫校設置に向けた課題の整理や、その対応策について協議を行うため、「沼津市静浦地区小中一貫校検討委員会」が設置された。

小・中学校は、その歴史を含め地域と密接な関係にあり、学校の統廃合は地域全体にとって大きな問題である。加えて、平成 19 年 4 月に志下自治会から「静浦中学校校舎移転並びに静浦西小学校存続について」の陳情書が提出されたこともあり、学校統廃合が地域にどのような影響を与えるかという点も含め、本検討委員会において鋭意検討を重ねてきた。

一番大事なことは、静浦地区の子どもたちにとって最良の教育環境を整えていくことであり、「沼津市静浦地区小中一貫校検討委員会」では、常にこの観点から協議を進めてきた。

ここに、これまでの検討内容をまとめ、静浦地区小中一貫校の設置に係る考え方を提言する。

この提言をもとに、静浦地区の子どもたちによりよい教育を提供するため、魅力ある小中一貫校が建設されることを期待する。